

---

## アレルギー性疾患でコロナ発症リスク低下

### 英・1万5,000例対象の住民コホート研究

🕒 2021年12月22日 15:16

🗨️ [2コメント](#)

---

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の危険因子に関しては、重症化および死亡のリスクを高める因子についての研究がほとんどで、軽症例を含む全般的な発症関連因子についての報告は限られていた。こうした中、英・Queen Mary University of LondonのHayley Holt氏らは、英国の住民ベースの前向きコホート研究COVIDENCE UKを実施。COVID-19発症の危険因子としてアジア系、高BMIなどを、保護因子としてアレルギー性疾患を同定。特にアレルギー性喘息がある者ではリスクの低下度が大きかったことを*Thorax*（[11月30日オンライン版](#)）に報告した。

### 年齢層などを限定せず幅広く危険因子を検討

これまで、COVID-19の重症化および死亡の危険因子に関しては数多くの研究で検討され、男性、黒人またはアジア系、肥満、貧困などの他、糖尿病や心血管疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、高血圧などさまざまな併存疾患が同定されている。

その一方で、より軽症のCOVID-19の危険因子に関しては十分な研究が行われていない。

また、高齢者よりも若年者の方が全般的なCOVID-19発症リスクは高いこと、糖尿病や心疾患、高血圧がある者では検査で新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）陽性となるリスクはむしろ低いことなどの報告はあるが、これらの関連には行動や職業、社会経済的な因子や生活習慣、食事などが関与している可能性が考えられる。

そこでHolt氏らは今回、COVID-19の危険因子となる可能性のある因子について幅広く検討するため、COVIDENCE UKを実施。2020年5月1日～21年2月5日に登録した1万5,227例〔平均年齢59.4歳（範囲16.0～94.4歳）、女性69.8%〕を対象に、潜在的な危険因子とCOVID-19発症〔ポリメラーゼ連鎖反応（PCR）検査またはラテラルフロー検査でSARS-CoV-2陽性と定義〕のリスクとの関連について解析した。

また、オンラインの質問票を用いてCOVID-19が疑われる症状やさまざまな潜在的危険因子、COVID-19の検査を受けた場合は結果についての情報を収集した。質問票による調査はベースライン時に加え、追跡期間中は月1回のペースで実施した。

## アレルギー性喘息があるとリスクが38%低下

検討の結果、解析に組み入れた1万5,227例のうち446例（2.9%）がCOVID-19を発症した。

COVID-19発症リスクの上昇に独立して関連していた因子は、①アジア人／アジア系英国人〔白人に対する調整後オッズ比（aOR）2.28、95%CI 1.33～3.91〕、②家庭内が過密状態にある（寝室1室当たりの人数が0.5人増えるごとの同1.26、1.11～1.43）、③前の週に他の家庭に訪問または他の家庭から訪問を受ける（訪問または訪問を受けなかった場合に対する同1.31、1.06～1.62）、④屋内施設の訪問回数（1週間当たりの訪問が1回増えるごとの同1.05、1.02～1.09）、⑤医療またはソーシャルケアの従事者を除く現場職（非現場職に対する同1.49、1.12～1.98）、⑥高BMI（BMI 25未満に対するaORはBMI 25～30で1.50、95%1.19～1.89、BMI 30超で1.39、同1.06～1.84）、⑦一晩当たりの睡眠時間が9時間超（9時間未満に対するaOR 1.29、95%CI 1.01～1.66）であった。

他方、COVID-19発症リスクの保護因子は、アレルギー性疾患の既往歴（aOR 0.75、95%CI 0.59～0.97）、免疫抑制薬の全身投与（同0.47、0.22～0.99）であった。

また探索的解析の結果、アトピー性皮膚炎や花粉症、アレルギー性鼻炎などの有無に基づきアレルギー性喘息を有すると判定された人では、アレルギー性疾患や喘息のない人と比べてCOVID-19発症リスクの低下度が大きかった（aOR 0.62、95%CI0.41～0.93）。年齢や性、食事、サプリメントの摂取、その他の併存疾患や使用している薬剤には、COVID-19発症リスクとの独立した関連は認められなかった。

今回の研究の重要な点として、Holt氏らはSARS-CoV-2への曝露に影響しうる因子を厳密に調整して解析した結果、アジア人／アジア系英国人および高BMIはCOVID-19発症リスクの上昇に関連していたが、アレルギー性疾患は同リスクの低下に関連していたことを挙げている。

さらに、さまざまな併存疾患の中でアレルギー性疾患のみがCOVID-19リスクの低下に関連した点については、「アレルギー性疾患の患者では、SARS-CoV-2の受容体をエンコードする遺伝子であるACE2の発現が低下していることが影響している可能性がある」との見方を示している。

（岬りり子）

## 関連タグ

[循環器内科](#) [呼吸器内科](#) [糖尿病・内分泌疾患](#) [アレルギー科](#) [皮膚科](#) [感染症](#) [COPD](#) [アトピー性皮膚炎](#) [アレルギー性鼻炎](#) [アレルギー疾患全般](#)  
[コメディカル](#) [サプリメント](#) [パンデミック](#) [免疫抑制薬](#) [内分泌疾患全般](#) [呼吸器感染症](#) [呼吸器疾患全般](#) [喘息](#) [循環器疾患全般](#) [感染症全般](#)  
[新型コロナウイルス感染症](#) [新興感染症](#) [生活習慣全般](#) [睡眠](#) [糖尿病](#) [耳鼻咽喉科全般](#) [肥満](#) [花粉症](#) [薬剤師](#) [高血圧](#) [鼻炎](#)



友だち登録でより便利に情報をGET!  
友だち募集中!!

LINE 公式アカウント  
スタートしました!

@medicaltribune 今すぐ登録

ZVAAoCAAX